パネル・セッション２

「ポスト 2015 年の教育課題―近未来の教育とは」

［モデレーター］

二宮　皓	放送大学　広島学習センター　所長

［パネリスト］

キャロル・ムッチ	ニュージーランド政府教育機関評価局　上級顧問
シルビア・シュメルケス	メキシコ　イベロアメリカ大学　教育開発研究所長
アブドゥル・ラシッド・モハメッド	マレーシア　サインスマレイシア大学　教育学部長
ピエール・コウラゴ	ブルキナファソ　ワガドゥグ大学文学 人文・コミュニケーション研修研究部　准教授

［モデレーター］

二宮　皓　放送大学広島学習センター所長、前広島大学理事・副学長（2005-2009）。中央教育審議会大学分科会大学教育の検討に関する作業部会大学 グローバル化検討ワーキンググループ座長、大学評価・学位授与機構運営委員会委員、日本学生支援機構（JASSO）政策企画委員会委員、国際化拠点整備事 業プログラム委員会委員。OECD/CERI（教育研究革新センター）「明日の学校教育（Schooling for Tomorrow）」事業に 10 年にわたって関わり、1997 年に同事業の初会合を広島で開催した。その成果は CERI が 1999 年に出版した Innovating Schools に報告されている。全米社会科協議会範例的研究賞（1999）、日本教育経営学会国際貢献賞（2004）、環太平洋教育研究会功労賞 （2009）他受賞。

［パネリスト］

キャロル・ムッチ　ニュージーランド政府教育機関評価局における上級顧問。教育機関評価局は教育省とは別の政府機関で、学校審査を行う。それ以前 は、カンタベリー大学・クライストチャーチ教育大学の教授として教員養成および教育研究に携わる。教育研究に関する著書を数冊出版している他､教育政策、カリキュラム開発、未来教育、市民教育などに関する論文を学術誌や本の章などに多数発表。研究で数カ国に滞在した経験があり、名古屋大学の客員研究員等務 める。教育活動や研究で数度表彰される。国内外で多くのパネルや実行委員会に属す。現在、Pacific-Asian Education および Curriculum Matters の 2 誌の編集者。

シルビア・シュメルケス　メキシコ・シティーにあるイベロアメリカ大学教育開発研究所長。教育の質、成人教育、価値教育、異文化間教育の分野を 34 年 にわたって研究。2001 年－ 2006 年のフォックス政権時、教育省に「二言語異文化間教育調整室」を設立し室長を務めた。約 20 冊の著書がある他、本の 章や学術誌に研究論文を 200 近く発表。2002 年から 2004 年まで、OECD 教育研究革新センターの理事会議長。2008 年 11 月、ユネスコとチェコ 共和国教育青年スポーツ省の共同によるコメニウス・メダルを受賞。

アブドゥル・ラシッド・モハメッド　サインスマレイシア大学教育学部長・教育学教授およびマレーシア教育学部長協議会議長。初等教育、中等教 育、教員養成校、大学で教壇に立つ。マレーシアの大手新聞各紙に教育問題の記事をしばしば寄稿する。多数の研究をもつが、現在はマレーシアの第二言語の学 習用として読解力評価・診断システム（READS）の開発に取り組み、中高生を対象とした英語読解力のベンチマーク評価に READS を活用している。教育 に関するプロシーディングス、論文、著書を多数執筆。直近のものでは、Sustainability at Universities Opportunities, Challenges and Trends (2009) の 1 章で、シャリファー・ノルハイダー・サイード・イドロスと共同で執筆した“Greening the Teacher Education Program at Universiti Sains Malaysia”がある。パース、カタール、インドネシアなどで基調講演を行う。

ピエール・コウラゴ　ワガドゥグ大学、人文・コミュニケーション研修研究部における応用言語学准教授。同大学研究・協力担当元副学部長。研究・教 育革新・研修センター（DGCRIEF）元所長。ロンドン大学教育研究所で博士号取得。現在カリキュラムのプロセス、教育における言語、学校教育の質向上 などの研究に取り組む。最近の論文は、“Education in Burkina Faso at Horizon 2025”（「地平線 2025 年におけるブルキナファソの教育」）、“Exploring educational quality through classroom practices - A study in selected primary school classes in Burkina Faso”（「教室活動を通じて教育の質向上を目指す―ブルキナファソのいくつかの教室における研究」）など。2008 年、広島大学教育開発国際協力研究 センター（CICE）に客員教授として 4 カ月間滞在。「教育開発ネットワークのためのアフリカ・アジア大学間対話」事業に積極的に参加している。